

# 函南町軽井沢メガソーラー関連のマスコミ報道 2021

2021/7/6

函南町 メガソーラー防災面で懸念（静岡新聞 2021 年 1 月 20 日版） 周辺首長に協力依頼	3
函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送） 反対住民“環境影響評価の方法不十分”	4
アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版） メガソーラーで函南町長	5
環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版） メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す	5
函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送） 町の意見への反映求める 静岡・函南町	6
メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望	7
メガソーラー中止求め（静岡新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会、町長に意見書	8
メガソーラー「直下に活断層」（朝日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 会結成の住民が勉強会	9
事業地直下に活断層（静岡新聞 2021 年 2 月 3 日版） 専門家 土砂災害の危険性指摘	10
函南メガソーラー「知事との面会望む」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 11 日版） 反対住民、県担当者と会談	11
災害への危機感強く（静岡新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南町メガソーラーへ住民意見	12
メガソーラー「住民の思い、重視を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南議会 一心会、古村氏、町に要望	13
メガソーラー「地域共生に厳正対応を」（伊豆日日新聞 2021 年 3 月 2 日版） 衆議院予算委分会で勝俣氏質問	14
メガソーラー地域共生への取り組みは（伊豆日日新聞 2021 年 3 月 12 日版） 衆院委員会で勝俣氏質問 小泉環境相に対応聞く	15
住民説明「不十分」（静岡新聞 2021 年 3 月 17 日版） メガソーラー巡り町議会 函南	16
函南メガソーラー「視察し住民の声聞いて」（伊豆日日新聞 2021 年 4 月 3 日版） 町議会 知事に反対の意見要望	17
函南町議会「建設反対」要望（静岡新聞 2021 年 4 月 6 日版） メガソーラー知事意見書に反映を	18

函南・軽井沢メガソーラー（伊豆日日新聞 2021 年 4 月 14 日版） 「河川、地下水の調査を」オンラインで県アセス審査会	19
函南町長 アセス方法 県に意見書（静岡新聞 2021 年 5 月 1 日版） メガソーラー「撤回求める」	20
函南軽井沢メガソーラー 土地の安定性、景観は（伊豆日日新聞 2021 年 5 月 15 日版） 県アセス審査会 事業者見解に質問	21
函南メガソーラー反対グループ（静岡新聞 2021 年 5 月 27 日版） 副知事に嘆願書提出	22
函南町で民間計画のメガソーラー（NHK 2021 年 5 月 28 日放送） 審査の一部に不備 県が指導へ	23
函南メガソーラー「県アセス 厳密な審査を」（静岡新聞 2021 年 5 月 29 日版） 反対グループ 副知事に嘆願書	24
函南軽井沢メガソーラー（伊豆日日新聞 2021 年 6 月 11 日版） 「景観特性を踏まえ調査を」県アセス審査会 事業者見解に意見	25
【知事選】大学生に聞く「あなたの争点は？」メガソーラー問題では両候補が主張 （DaichiTV 6 月 11 日放送）	26
伊豆半島相次ぐメガソーラー計画（伊豆日日新聞 2021 年 6 月 16 日版） 両候補“現場”函南で訴え	27
函南町・メガソーラー計画 県の審査会 答申案まとめる「景観に配慮を」 （テレビ朝日 2021 年 6 月 18 日放送）	28
函南メガソーラー 修正案提示し終了（伊豆日日新聞 2021 年 6 月 22 日版） 県アセス審議会 調査や評価項目見直す	29
静岡・函南 メガソーラー住民は反対なのに（しんぶん赤旗 2021 年 6 月 28 日版） 建設阻止へ住民投票を	30
函南メガソーラー環境アセス（静岡新聞 2021 年 6 月 30 日版） 特性踏まえた調査を 知事意見書	31
環境への影響を懸念（静岡朝日テレビ 2021 年 6 月 30 日放送） 静岡・函南町のメガソーラー事業反対派が静岡県知事に要望書提出	32
函南町の住民 メガソーラー計画で県に要望（静岡放送 2021 年 6 月 30 日放送）	33
静岡・川勝知事「リニア問題とも共通」（テレビ静岡 2021 年 6 月 30 日放送） 函南メガソーラーの計画反対住民らに理解示す	34
函南町 「メガソーラー」めぐり反対住民らが県に要望（NHK 2021 年 6 月 30 日放送）	35
知事「住民理解のない着工間違い」（静岡新聞 2021 年 7 月 2 日版） 函南メガソーラー	36
函南メガソーラー「工事強行に指導を」（伊豆日日新聞 2021 年 7 月 2 日版） 反対住民団体、知事に要望書 「脆弱な地盤」指摘も	37

周辺首長に協力依頼

函南町長  
メガソーラー防災面で懸念  
周辺首長に協力依頼

函南町の仁科喜世志町長は19日、同町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画について「治山

治水の問題をクリアできるとは思えない」とし、周辺市町の首長を訪ねて防災面での懸念を示すコメントを寄せ

てもらおうよう依頼する考えを示した。環境影響評価（アセスメント）

の方法書に対する町長の意見書に反映させる方針。

同日、計画に反対す

る住民団体との面談で明らかにした。メガソーラーの建設に伴う森林の保水力低下、事業用地が活断層の真上に位置する問題点を踏まえ、豪雨や台風などの影響が他市町にも及びかねない事態を想定。周辺の市町長からコメントが得られれば環境アセス方法書の縦覧期間後に作成する意見書に盛り込み、防災面で

の危機意識を地域全体で発信する。

面談では沼津市民も出席し、駿河湾も含めた広範囲に影響が拡大する可能性を指摘した。仁科町長は「意見書では流域の人々の考えも触れさせてもらう」と述べた。

地域密着の姿勢は忘  
くはない。組合員  
中には、合併によつて  
が行き届かなくなると  
不安もあるだろう。地

国保賦課限度額  
21.1.20

函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送）

反対住民“環境影響評価の方法不十分”



函南町に建設が計画されている大規模太陽光発電所をめぐり、土砂災害のおそれなどから反対する住民らが、事業者がこれまでに示している環境影響評価の方法は不十分だなどとして、改善を促すよう町に求めました。

函南町の軽井沢地区に計画されているおよそ65ヘクタールのメガソーラーの建設をめぐっては、一部の住民が、土砂災害のリスクの高まりや自然環境への影響を懸念して反対している一方、東京の事業者は、これまでに建設計画を進める上で必要な環境影響評価の方法を町などに示しています。



これについて、住民らが19日に町役場を訪れ、水質や地質などの対象範囲には根拠がなく、不十分だなどとして、事業者に対し、改善を文書で促すよう町に求めました。

この中で住民の1人は、建設予定地は、おととしの台風で実際に土砂崩れが起きたとして、「今後も大雨になれば災害が発生するおそれがあり不安だ」と訴えました。

また土砂災害が起きれば、沼津市などを流れる狩野川があふれ、水害を招くおそれがあるという声も聞かれました。



要望に対し、函南町の仁科喜世志町長は、住民の懸念は理解できるとして対応を検討する考えを伝えていました。



アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版）

メガソーラーで函南町長

**アセスへ意見書  
住民に内容説明**  
メガソーラーで函南町長

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー建設問題で、同町の仁科喜世志町長は19日、反対派住民らと面会した。席上、「治山治水問題をクリアできない」と述べ、事業阻止を目指す考えを示した。

現在、事業者に義務化されている環境アセスメントに向けた準備が進んでいる。仁科町長は、手続きの

中で示すことになる意見書の内容について説明。「（2019年の）台風19号では大きな水害が発生した。計画では39もの森林を伐採する。狩野川下流域の首長に直接会い。その思いも意見書に盛り込みたい」と述べた。

これに対し、「函南町軽井沢メガソーラーを考える会」の山口雅之代表は意見書の方向性は評価したが「アセスでは事業を止められない。阻止のためには町条例の適用が必要だ」と訴えた。

（岡田和彦）

環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版）

メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す



仁科町長の話に耳を傾けるメガソーラー計画に反対する住民ら  
Ⅱ 函南町役場

## 環境保全を重視

メガソーラー計画で仁科町長  
反対住民に姿勢示す

函 南

函南町の軽井沢地区 建設計画を巡り、計画で進む大規模太陽光発電に反対する住民らがこのほど、町役場で仁科

内容に関する意見を、知事宛てに提出することになっている。

仁科町長は「方法書の内容を確認しているが不十分な部分が多い。函南町は大きな土砂災害や水害を受けてきた地域。この計画では治山、治水の問題をクリアできるとは思えない」と述べ、「台風19号では狩野川など広域に被害が及んだ。周辺市町の首長に環境アセスについての意見を直接伺い、協力もお願いしたいと考えている」と語った。

（東京都港区）は現在、県条例に基づき環境影響評価（アセスメント）方法書の縦覧を行っている。縦覧終了後、県の求めに応じ、仁科町長は方法書を

（東京都市部）は現在、県条例に基づき環境影響評価（アセスメント）方法書の縦覧を行っている。縦覧終了後、県の求めに応じ、仁科町長は方法書を

函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」 (テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送)

町の意見への反映求める 静岡・函南町



函南町で計画されているメガソーラーについて商工会が町長に要望です。

東京の事業者がメガソーラーおよそ 10 万枚の太陽光パネルを町内に設置する計画で、今日は商工会のメンバーが「災害などへの懸念から中止すべき」として意見の反映を仁科町長に要望しました。







函南町商工会、町長に意見書

函南町商工会は1日、同町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設に対し、事業の中止を求

## メガソーラー中止求め

函南町商工会、町長に意見書



仁科町長（左）に意見書を手渡す八木戸会長＝函南町役場

める意見書を仁科喜世志町長に提出した。仁科町長は環境影響評価（アセスメント）方法書に対する町の意見書に反映させる方針。同商工会は事業者が設置する3カ所の調整池が事業用地の1・5％にすぎない点を指摘し、「大量の雨水が調整池の容量を超えれば、一昨年の台風19号以上の危機が生じる」とした。景観面では周辺の8カ所からソーラーパネルの可視領域に入ることで「自然環境に人工物が入り交じり、景観価値を著しく損ねる」とし、観光業への悪影響を訴えた。八木戸一重会長から意見書を受け取った仁科町長は「商工業者の考えを代弁するため、意見を最大限尊重したい」と語り、提出する町の意見書に盛り込む考えを示した。八木戸会長は「事業の阻止に向け、町と一緒に取り組んでいきたい」と述べた。

会結成の住民が勉強会

## メガソーラー 「直下に活断層」 会結成の住民が勉強会

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー予定地近くの住民が「丹那の自然と生命を守る会」を結成し、1月30日に現地で30人が参加して勉強会を開いた。講師を務めた地質の専門家でコンサルタントの塩坂邦雄氏が計画地の直下に活断層があり危険だと指摘した。

塩坂さんによると、洪水防止のための調整池付近の地下を国土地理院が公表している活断層が走っている。このため「断層が動いて地震が起きれば（調整池の）堤体は崩壊し下流を土石流が襲う。こんな危険な計画は止めなければならな

い」と主張した。

守る会は計画地の近くにある丹那小学校・幼稚園に子どもを通わせる親たちが中心になって昨年末結成した。会長の会社員溝口靖基さん(54)は「まずはメガソーラー阻止のために全力を尽くす。阻止した後は活気と魅力にあふれたまちづくりを進める活動に発展させていきたい」と話した。

計画では開発業者のブルーカーピタルマネジメント（東京都港区）が丹那盆地北側斜面の山林約65畝に太陽光パネル約10万枚を設置、中部電力子会社のトーエネック（名古屋市中）が東京電力に売電する。環境アセスメントに向けた準備を進めており、守る会ではアセスに対する意見書で活断層の危険性を指摘することにした。

（岡田和彦）






事業用地の付近を訪れて地質を調べる塩坂邦雄氏（手前）  
＝1月30日、函南町榑井沢

事業地直下に活断層

# 専門家 土砂災害の危険性指摘

函南町軽井沢の大規模は「メガソーラー自体が記載され、その上に雨水をためる約2万4千坪の調整池などがある」と評している。この建設予定の計画、開発者が「活断層は全国にあり全ての開発を禁じている。活断層は活断層ではない」と主張し、審査の過程で「活断層の存在は確認していない」と主張している。一方、塩坂氏は長雨に

 函南太陽光発電事業地 函南町東端の山林に広がる事業用地65㌫に、約10万枚のソーラーパネルを設置する。2022年8月に着工し、23年12月に運転を開始する予定。ブルキヤビタルマネジメント(東京)が開発事業を行い、固定価格買い取り制度に基づき中部電力子会社のトリエネック(名古屋市中)が東京電力に全量売電する。

姿勢を示す仁科喜世主  
町長は、環境アセスの  
方法書に対する意見書  
を作成して県に提出す  
る方針。

(三島支局・金野真仁)

鶴岡市立図書館(22)と  
鶴岡市立図書館(22)と  
連携を、松江市立  
の大学生・鶴岡図書館  
に紹介し、昨年7月、こ  
の大学生・鶴岡図書館  
の指揮で、約10万冊  
申請さへ、小企業主  
から100万円を大学  
生の口座に振り込ませ  
て詐欺と疑い、鶴岡  
図書館が、学生から約  
10万円を返却取り、田  
中容子さんが、数方  
を「紹介料」として得  
た疑いがあるといっ

県にまで、環境アセスの調査項目には「土地の安定性」が含まれるもの、どこまで調べるかは事業者次第。現時点のアセス計画で活動期に位置する調査を行う予定はなく、ブル社は「調査を求める意見が出れば誠実に検討したい」という。

事業に「不同意」のろ、山ノ内町寒沢、白い。長野県で1日夜から2日朝にかけて、山ノ内町と松本市で住宅火災が2件発生し、県警によると、計4人の遺体が見つかった。住人の2組の高齢夫婦4人と連絡が取れていない。県警が火災原因を調べている。

1日後10時15分ごろ、山ノ内町寒沢、白い。55歳ごろ鎮火し、2人の遺体が見つかった。80代の白鳥さんと70代の妻と連絡が取れている。2日前午前5時15分ごろには松本市開賢、東條さん92方で火災があり、焼け跡から4人の遺体が見つかった。東條さんと妻の87



(1)

第13473号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊



県の林地開発許可について話をする藤田局長(左)  
＝函南町の軽井沢公民館

函南メガ  
ソーラー

# 「知事との面会望む」

## 反対住民、県担当者与会談

函南町軽井沢で計画が進む大規模太陽光発電所(メガソーラー)による会談が10日、軽井

沢公民館で行われた。同事業は県の林地開発許可を受けている。

事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価(アセスメント)方法書にも活断層の存在が記載され、その上に雨水をためる約2万4千トンの調整池などが建設される計画。反対住民らは調整池直下の活断層とスコリア層による土砂災害による災害リスクを指摘している。

会談には函南町軽井沢メガソーラーを考える会(山口雅之代表をはじめ、周辺市町の関係住民ら24人が参加。県からは担当者6人が出席し、事業計画の現状などを説明した。山口代表は「県と住民と協力してこの問題の解決に取り組んでいきたい。県のトップである知事と会う機会を設けてもらい、地元の声を直接伝えたい」と訴えた。

国土地理院活断層図では、約65診に広がる

県経済産業部森林・林業局の藤田祐司局長は「林地開発許可は許可して終わりではない。許可には法的規制の中で付帯条件を付けている。皆さんの懸念

に対しては行政指導を続けていく」と説明した。



三島南高  
センバ  
祝

野球部創部100

三島市大場の三島南高に、第93回選抜高校野球大会出場を祝う懸垂幕が登場した。応援の看板や旗も設置され、学校挙げてムードを盛り上げている。

函南町メガソーラーへ住民意見

## 災害への危機感強く

函南メガソーラーへ住民意見

一心会  
町長に報告

仁科町長（左）に報告書を手渡す土屋会派長（右）函南町役場



函南町議会の会派「一心会」は同町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画に対し、環境影響評価（アセスメント）の方法書に対する

町民や企業など211件の意見をまとめ、16日に町役場で仁科喜世志町長に報告した。災害に危機感を抱く町民は多く、仁科町長が作成する町の意見書に反

映するよう求めた。

一心会には個人19

5件、団体16件の意見が寄せられ、水害・浸水を懸念する内容が最多の70件、地震・活断層による危険性の指摘は37件だった。自然破壊など環境への影響に加え、事業者の説明不足に憤る声も上がった。土屋学会派長は「町民の思いを重視し、リリースを発揮して解決に尽力してほしい」と仁科町長に訴えた。

同計画に対して「不同意」の姿勢を示している仁科町長は「メガソーラーができれば毎日が不安になる。オ

ル函南で取り組んでいきたい」と応じた。

難航する統合計画  
今後の方向性議論  
西伊豆町教委

西伊豆町教育委員会は15日夜、本年度の第4回文教施設等整備委員会を同町の安良里公民館で開いた。難航している認定こども園と小中一貫校の統合計画の現状を報告し、委員約15人と今後の方向性について議論した。

統合計画は町議会による2度の予算削除を受けて停滞している状況。委員会では長きにわたり意見を交わし、方向性を定めてきた





仁科町長(左)に要望書を手渡す  
土屋会派長＝函南町役場

## 函南議会

一心会、古村氏、町に要望

「町民の思い、重視を」

望書は「町長として町民の思いを重視し、町が力を合わせ、この問題に取り組んでいけるようリーダーシップを発揮し、解決に向け尽力してほしい」などと求めた。

同会派と古村氏は、開発業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が県条例に基づき実施した同事業所に関わる環境影響評価方法書に対し、町

内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超えている意見書が集まったという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「町民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超え、意見書が集まったという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「町民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

衆議院予算委分会で勝俣氏質問

伊 豆 日 日 新



メガソーラー

衆議院予算委分会で勝俣氏質問

## 「地域共生に厳正対応を」

梶山経産相「違反は認定取り消す」

自民党の勝俣孝明衆議院議員(比例東海)はこのほど、衆議院予算委員会第7分会で大規模

太陽光発電施設(メガソーラー)事業について質問した。伊豆半島のメガソーラー計画を念頭に置き、地域との共生が取れていない事業者に対してFIT(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)

認定の取り消しを徹底してほしいと梶山弘志経産相に求めた。梶山経産相は「地域の自治体が定めた条例を含む関係法令順守をFITの認定条件として定めている。違反した場合は認定を取り消すこととし、厳正に対応していきたい」と答

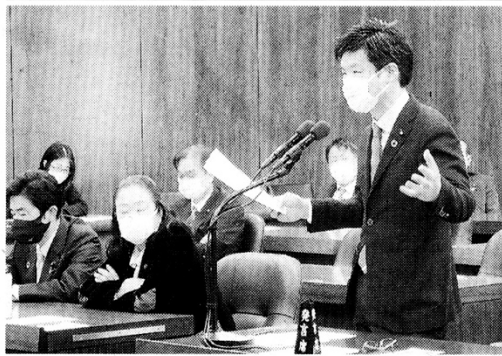
えた。

JR伊東

高校生おもてなし「にぎわい」

伊東市の「高校生観光おもてなし特派員」

衆院委員会で勝俣氏質問 小泉環境相に対応聞く



衆院環境委員会でソーラー発電事業の地域規制について質問する勝俣氏＝国会内（提供写真）

## メガソーラー 地域共生へ取り組みは 衆院委員会で 勝俣氏質問 小泉環境相に 対策聞く

自民党の勝俣孝明衆院議員（比例東海）は9日に国会内で開かれた衆院環境委員会で、小泉進次郎環境相

に対して太陽光発電事業の地域や、自然環境との調和についてたどたどしに地域との共

「トラブル」になっているケースが全国的にも伊豆半島でも散見される。近年は、毎年100件を超える地滑りなどの災害事故が確認されている」と指摘した上で「環境省としてどのように地域との共

生、自然との調和に取り組んでいくのか」と尋ねた。

小泉環境相は「今国会で温暖化対策推進法改正に絡み、再エネルギー促進区域を設け、さまざまな合意形成に向けた地域の人たちの努力が円滑に進みやすいよう、自治体の条例規制と合わせて対策をしていく」と答えた。

## 知人の男 指名

### 三島署 殺人事件の捜査



指名手配された新津鉄也容疑者

三島市 番町で清水町伏見の、設作業員鍵

和田俊奇（32）が刺

殺された事件で三島署

と県警刑事部捜査課

は11日、人容疑で

現場から走っている

た疑い。鍵和田さんは

捜査本部を同署に設置し行方を追っている。

新津容疑者は7日午

前5時半ごろ、一番町

12の1、南東側路上で、

鍵和田さんを所持して

いた刃物で刺し殺害し

た疑い。鍵和田さんは

住民説明「不十分」（静岡新聞 2021 年 3 月 17 日版）

メガソーラー巡り町議会 函南

## あなたの静岡新聞

静岡

知っとこ

追っかけ

新着



### 住民説明「不十分」 メガソーラー巡り町議会 函南

2021.03.17

函南町議会 3 月定例会は 16 日、一般質問を行い、町は同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）に関し、事業者の住民に対する説明が不十分として「国、県と連携して今まで以上の指導をしていく」と述べた。古村高氏（無会派）への答弁。

県の林地開発許可では説明会などで住民の理解を得る努力を認可の条件としているが、町は「説明会は不十分。住民の理解を得るよう努めているとは判断していない」と指摘した。事業者が実施した県条例に基づく環境影響評価（アセスメント）方法書の縦覧では、町民から多くの反対意見が寄せられたとみられる。仁科喜世志町長は今後、町民や専門家の考えも踏まえて自らの意見書を作成し、県に提出する予定。

同日はこのほか、植松淳史（自由かなみ）、土屋学（一心会）、田中正美（共産）、大庭桃子（同）の 4 氏も登壇した。

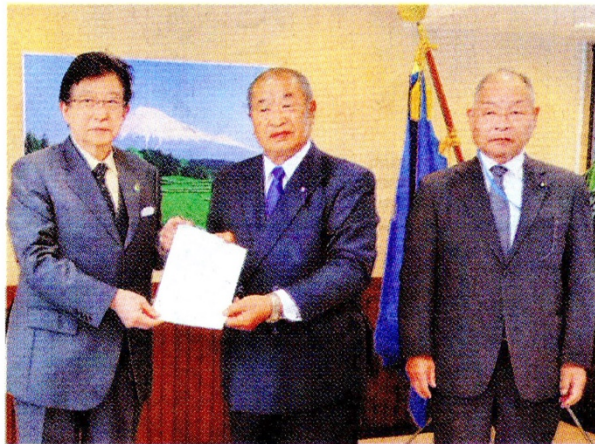


町議会 知事に反対の意見要望

函南メガ  
ソーラー

## 「視察し住民の声聞いて」

町議会 知事に反対の意向要望



川勝知事(左)に意見書を手渡す中野議長  
＝県庁(提供写真)

函南町の軽井沢地区で進む大規模太陽光発電(メガソーラー)建設計画を巡り、同町議会(中野博議長)はこれまで、川勝平太知事に「(仮称)函南太陽

を訪ね、川勝知事に手渡した。同意見書は事業者が、県条例に基づき実施した同事業に関わる環境影響評価書に関する内容。同議会の「メガソーラー建設計画問題対策特別委員会」が3月定例会に提出し、全会一致で可決された。意見書は川勝知事に対し「議員や多くの町民も同事業に対して反対の意向を示した意見書を提出している。現状を鑑み、意見概要書に付する知事意見にこの意向をくみ取ってほしい」と強く求めている。中野議長は川勝知事に対して「建設予定地を視察して町民、住民の声を直接聞いていただく機会を設けてほしい」と要望。川勝知事は「全国知事会で同様の課題を抱える自治体と協調し、法律における権限行使ができるよう国に働き掛けていきたい」と答えた。

メガソーラー知事意見書に反映を

## 南町議会「建設反対」要望

函 　　メガソーラー知事意見書に反映を

函南町議会の中野博議長らはこのほど県庁を訪れ、同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）について、環境影響評価（アセスメント）の方法書に対するものは「反対」との考えを示した。川勝知事は環境アセスの意見概要書が出された3月末から90日以内、仁科喜世志町長らの考えも受けて意見

書を作成する。中野議長との面会では同様の問題が各地で起きている現状に触れ、「全国知事会で同じ課題を抱える自治体と協調し、法律による権限行使ができるよう国に働きかけた」と述べた。中野議長は「建設予定地を視察し、町民の声を直接聞く機会を設けてほしい」と川勝知事に訴えた。

オンラインで県アセス審査会

<p>函南・軽井沢 メガソーラー</p> <p>「河川、地下水の調査を」</p> <p>オンラインで県アセス審査会</p> <p>県環境影響評価審査会 は13日、ブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が函南町軽井沢地区で計画する大規模太陽光発電所（メガソーラー）について、県環境影響評価（アセスメント）条例</p>	<p>に基づき審査を始めた。審査会は県庁で開かれたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業者はオンライン参加となった。初めに、同社の事業担当者、事業概要と方法書の説明や審査会委員の意見などに対する見解を説明した。続いて、審査会委員からは事業者が選定した調査項目について、見直しを求める意見が寄せられた。「河川の変化」や「地下水の変化」などの追加を求めた。</p>	<p>このほか、「水の濁り」や「動物」「景観」などに及ぼす影響の調査方法などについての意見交換も行った。</p> <p>同事業は敷地面積約65畝、太陽光パネル約10万枚を設置し、売電する民間事業。最大出力は2万9800キロワット（交流）。県は今回を含め審査会を計3回開催し、6月下旬をめどに知事の意見を事業者に送付する。</p>
---	---	--

5月1日（土曜日）

責争

戸戸

乗行

## 函南町長 アセス方法 県に意見書 メガソーラー「撤回求める」

函南町の仁科喜世志町長は30日までに、同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の環境影響評価（アセスメント）方法書に対する意見書を県に提出した。防災、景観、文化財などあらゆる分野における影響が懸念されるとし、「事業中止を含めた計画の見直し、撤回を強く求める」と訴えている。

函南町の仁科喜世志町長は30日までに、同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の環境影響評価（アセスメント）方法書に対する意見書を県に提出した。防災、景観、文化財などあらゆる分野における影響が懸念されるとし、「事業中止を含めた計画の見直し、撤回を強く求める」と訴えている。

めて手続きを行うべき」とした。

県は条例に基づき6月まで3回の審査会を開き、専門家や仁科町長らの意見も踏まえて環境アセスの方法書に対する妥当性を協議する。6月末に川勝平太知事の意見書を事業者に通告する予定。

## ワクチン集団接種開始

裾野市 医療従事者700人対象  
新型コロナウイルス

裾野市は30日、市内新型コロナウイルスワクチンの集団接種を市福祉の医師や看護師ら医療従事者を対象にした新

の医師や看護師ら医療従事者を対象にした新

社保健会館で開始し

対象は県医師会や駿東園科医師会、沼津薬

社保健会館で開始し

対象は県医師会や駿東園科医師会、沼津薬



県アセス審査会 事業者見解に質問

<p>函南軽井沢メガソーラー 県アセス審査会 事業者見解に質問</p> <p>県環境影響評価審査会は13日、ブルーキャピタルマネジメント（本社・東京都港区）が函南町軽井沢地区で計画する大規模太陽光発電所（メガソーラー）について、県環境影響評価（アセスメント）条例に基づく2回目の審査会を開いた。</p> <p>事業者は前回の審議を踏まえ、環境影響評</p>	<p>土地の安定性、景観は</p> <p>県アセス審査会 事業者見解に質問</p> <p>県環境影響評価審査会を実施する項目に「河川の変化」や「地質の変化」や「地下水の変化」などを新たに追加すると説明した。また、3月31日に提出された住民などからの土砂災害や水を懸念する意見に対して事</p>	<p>業者からは「土地の安定性」や「河川の変化」などの項目の中で、今後調査を実施していくとの見解が示された。事業者の見解に対し、委員からは「土地の安定性」や「動物」景観」などについて追加の質問が挙がり事業者は次回の審査会で回答することになった。</p> <p>審査会は県庁で開かれたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業者はオンライン参加となった。次回は6月9日に開催し、函南町長の意見に対する見解が示される。</p>
--	--	---

副知事に嘆願書提出

責任

戸口

衆行

星早



事業の危険性について説明を受ける難波副知事  
（右から2人目）＝県庁

## 函南メガソーラー反対グループ

### 副知事に嘆願書提出

「函南町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画に反対する住民グループ（アセスメント）の厳密な

審査などを求める嘆願書を県庁の難波喬司副知事に手渡した。難波

副知事は「危険性を積み上げることで、河川法を元に町が事業を認めない根拠になる」との見解を示した。

伊東市のメガソーラー建設事業を巡り、根拠に基づき事業者の河川占用を不許可とする裁量権を行政側に認めた東京高裁判決を元に「本当に良くない事業であれば町の不許可で止められる」と述べた。一方、県が出した林地

開発許可については「事業者の問題点を指摘しても補正すれば済む話。やり直しや取り消しはできない」とし、環境アセスの審査でも「事業は止められない」と語った。

事業では活断層の真上に2万4千トンの調整池が建設される計画で、地質学者の塩坂邦雄氏も同席して危険性を説明した。県の林地開発許可を「防災上の安全」の根拠とする事業者の見解にも触れ、難波副知事は「林地開発と社会一般では安全性の認識が異なる。間違った考えだ」と指摘した。

（三島支局・金野真仁）

函南町で民間計画のメガソーラー（NHK 2021 年 5 月 28 日放送）

審査の一部に不備 県が指導へ



函南町で民間が計画している「メガソーラー」をめぐり、県がすでに出した、法律に基づく開発許可の前段となる審査の一部に不備が見つかり、県は指導することになっています。

函南町の軽井沢地区では、東京の事業者がおよそ65ヘクタールの大規模太陽光発電所、メガソーラーの建設を計画し、県はおととし法律に基づく開発許可を出しましたが、一部の住民が災害リスクが高まるなどとして反対し、県に計画地の調査内容の確認を求めています。

27日は県の担当者が町を訪れて反対する住民らと面会しました。

この中で、県側は、開発許可を出す前に事業者が実施の完了を県に説明していた川の流量の調査が終わっておらず審査の一部に不備が見つかったとして、法律に基づき今後、事業者を指導すると説明しました。

これに対し、住民側は、県の開発許可の判断が適正かどうか検証するよう求めました。

計画に反対している山口雅之さんは「県の説明は納得いくものではないので、引き続き対応を求めたい」と話していました。

県森林保全課の宮崎和之課長は「法律に基づき適切に対処するとともに、住民の不安を解消するために丁寧な説明を続けたい」と話していました。

反対グループ 副知事に嘆願書

函南メガソーラー	
<b>「県アセス 厳密な審査を」</b>	
<b>反対グループ 副知事に嘆願書</b>	
函南町軽井沢の大規模太陽光発電所(メガソーラー)建設計画について、事業に反対する住民グループ「丹那の自然と生命を守る会」(溝口靖基代表、会員86人)はこのほど、	県庁に難波喬司副知事を訪ね、県による環境影響評価(アセスメント)の厳密な審査などを求める嘆願書を提出した。同事業は県の林地開発許可を受けている。
「函南町のケースに当	てはめると、河川管理者である函南町が許可をしないという判断をする材料を積み重ねて最終的に町が不許可とすれば、計画を止めることも可能ではないか。林地開発許可は一定の条件を満たしたら県は許可しなければならぬ」となど見解を語ったという。
面会を終え、溝口代表は「副知事からは危険性を積み上げること	が、河川法を元に町が事業を認めない根拠になるとの見解など聞いた。活動の原点に立ち返り、この事業の危険性を住民に伝えていく仲間を増やし、広く知らせることが大切だと感じている」と話した。
つかったことから、現	在、県は事業者に必要な資料を求めて、安全性に問題が生じるかどうかを確認していると
た。	いう。検証結果をもとに、必要があれば法令に基づき、事業者を指導していくとしている。
	同会は丹那小・丹那幼稚園学区の保護者など子育て世代を中心に今年1月に発足した。



## 「景観特性踏まえ調査を」

函南軽井沢  
メガソーラー

県アセス審査会 事業者見解に意見

県環境影響評価審査  
会は9日、ブルーキャ  
ピタルマネジメント  
（東京都港区）が函南  
町軽井沢地区で計画す  
る大規模太陽光発電所  
（メガソーラー）につ  
いて、県環境影響評価  
（アセスメント）条例

に基づき3回目の審査  
会を県庁で開いた。

今回の審議で、第2  
回審査会での委員から  
の意見と函南町長から  
の意見に対する事業者  
の見解が示された。

函南町長らの意見に  
対する事業者の見解に  
は「準備書に示す」と  
いった内容が多いこと  
から、委員から「準備  
書での手戻りとならな  
いように、土地の安定

性を評価するには、地  
質の不均質性を考慮  
し、丹那盆地の景観の  
特殊性を踏まえた調  
査、評価をしてほしい」  
との意見が述べられ  
た。

今回の審査会では答  
申の取りまとめに向け  
て、事務局から答申案  
の説明もあり、次回審  
査会で答申が調整され  
る。知事はこの答申を  
踏まえ、6月末ごろま  
でに、事業者に対して  
環境保全の見地からの  
意見を述べるという。

【知事選】大学生に聞く「あなたの争点は？」メガソーラー問題では両候補が主張  
(DaiichiTV 6月11日放送)



#### 川勝平太候補

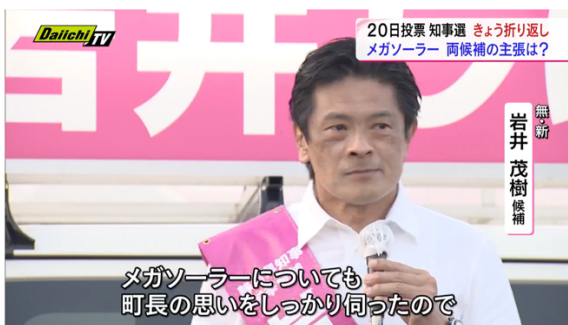
「（メガソーラー）建設による災害等の発生、生活環境の悪化等について懸念や不安を抱く地域住民とのトラブルが続発している。住民説明会の実施等、住民との合意形成を図る取り組みを義務付ける森林法の改正の検討。環境影響評価に関わる運用上の基準の明確化を求めるものである」

川勝候補はリニア工事による水問題をはじめ、メガソーラーの計画地域などで環境問題を前面に出し、支持を呼び掛けている。

これに対し前参院議員の新人 岩井茂樹候補（53）も10日に函南町へ。応援に入った函南町の仁科町長は川勝さんが反対しているメガソーラー計画について「2019年に現職知事は条件付きで開発を許可した」と批判し、岩井さんへの支持を訴えた。

#### 岩井茂樹候補

「現場の声を聞いているのか。私は違うと思う。何が一番問題かと言うとやっぱり県民目線というか寄り添う姿勢があまりにもない。メガソーラーについても町長の思いをしっかりと伺ったので今までの手続きに瑕疵（かし）がなかったのか一回チェックして、厳しい目に対応させていただく」





# 伊豆半島 相次ぐメガソーラー計画

森林を伐採して太陽光発電所を建設する計画の事業用地は函南町（本社ヘリ「エリコ1号」から）



大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設計画が、伊豆半島で相次ぎ浮上している。国策として普及が進む再生可能エネルギーだが、森林を伐採して建てられる巨大なソーラーパネルが景観を阻害し、防災上の安全を脅かすとして各地で住民が反対運動を展開する。20日投開票の知事選に出馬した2候補は地元の意向を無視した計画に異を唱え、双方の主張に住民の注目が集まっている。

## 住民が反対運動

景観阻害、防災不安

## 「政治の力」に期待高まる

65分の山林に約10万枚の太陽光パネルの設置が計画されている函南町野井沢。都内の開発業者が申請したメガソーラー事業で、県は昨年1月に林地開発の許可を出した。計画では、大雨に備えて2万4千トンの保水力を持つ調整池を活断層の上に設ける。近くの沢の下流には小学校が立地し、住宅が広がる。「土砂が崩れてきたらひとたまりもない。地元住民の反発は大きい」。

伊豆地域では同町以外にも下田、伊東、伊豆、河津の各市町でメガソーラー計画が立ち上がっている。2020年度から県条例に基づく環境影響評価（アセスメント）が義務づけられ、各市町でも事業に規制をかける条例制定の動きが進む。ただ、これまで事業の阻止に至った例はなく、県幹部も「林地開

発許可の審査や環境アセスでは事業は止まらない」と打ち明ける。

一方、伊東市のメガソーラー事業を巡る4月の東京高裁判決は反対理由を示さない市を敗訴としたものの、根拠に基づき事業に必要となる河川占用を不許可とする行政の裁量権を認めた。事業の反対運動に大きな追い風となる可能性もあり、住民からは政治の力に期待する声が高まる。

知事選に出馬した現職川勝平太氏（72）、前参院議員の新人岩井茂樹氏（53）は自民推薦として告示後に函南町を訪れ、演説でメガソーラー開発に伴う問題を取り上げた。両候補の主張を聞いた同町の男性は「知事として具体的に何をやるのか。しっかりと見極めたい」と話した。

## 両候補「現場」函南で訴え

川勝氏「地域を守る勉強を」

川勝平太氏は8日に函南町の事業用地を視察し、地元住民の前で開口一番基本的に反対と述べた。県の林地開発許可については「今の森林法は開発を許すようにできている」と法制度の限界を口にし、伊東市での東京高裁判決を挙げて「単に反対ではなく、なぜ反対か。みんなで勉強しながら地域を守ってほしい」と反対運動の高まりを呼び掛けた。

岩井氏「手続き厳しく確認」

岩井茂樹氏は10日、街頭演説に訪れた函南町で林地開発許可を巡る県の対応を取り上げた。各市町の首長と県の意思疎通が不足しているとし、「県は現場の話や聞き取りに決めている。県民目線、寄り添う姿勢がない」と批判。「まずは住民の声をしっかりと聞く。これまでの手続きに瑕疵（かし）がないか厳しくチェックする」と強調した。

### 知事選 私の視点



水野 幸雄さん（83）  
掛川・南遠地域教育  
環境整備推進協会会長

### ■ 高校統合計画 議論を

県教委が掛川市の横須賀高と御前崎市の池新田高の統合計画を発表したが、地域の実情とかけ離れた案だ。磐田から掛川の生徒が主の横須賀と菊川から御前崎が主の池新田は遠すぎて、統合されたら通えない。中東遠沿岸域の人口と企業の流失が加速する。県立高の配置は地域の将来に直結する問題。知事はじめ県全体で議論してほしい。

焼津の強盗致傷  
懲役7年を求刑  
静岡地裁公判  
焼津市の「コンビニ」で  
2008年12月、男性  
店員に刃物で切り傷  
を負わせて現金19万  
4千円を奪ったとし  
て、強盗致傷の罪に問  
われた川崎市川崎区、  
無職三井治被告（64）の  
裁判員裁判論告求刑  
公判が15日、静岡地裁  
（伊東頭裁判長）であ

函南町・メガソーラー計画 県の審査会 答申案まとめる「景観に配慮を」

(テレビ朝日 2021 年 6 月 18 日放送)



函南町でのメガソーラーの建設計画について、事業者が提出した環境への影響を調べる方法について検討してきた県の審査会は18日、知事への答申案をまとめました。

都内の事業者は函南町に太陽光パネル約10万枚を設置する計画ですが、一部の住民は環境や景観への影響を懸念し、反対の署名を提出しています。

専門家で作る県の審査会は、自然や生態系への影響について事業者が提出した調査方法を審議してきました。

そして審査会は18日、丹那盆地の景観維持のため、太陽光パネルの配置や反射などに配慮することを求める知事への答申案をまとめました。

答申を受け、今月中にも知事が意見を出す予定です。



# 修正案提示し終了

函南メガソーラー

県アセス  
審議会 調査や評価項目見直す

県環境影響評価（アセスメント）条例に基づき、4 回目の県環境影響評価審査会の18日、県庁で開かれ、ブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が函南町軽井沢地区で計画する大規模太陽光発電所（メガソーラー）について審議した。前回提示された答申案に、委員から寄せられた意見を盛り込んだ修正案が示された。

審議は今回で終了し、今後知事は審査会からの答申を踏まえ、6月末ごろまでに事業者に環境保全の見地から意見を述べる。修正案は事業者がこれまでの審議内容を踏まえ、調査や評価の項目を大きく見直したことから、「審議内容的に反映されていることを確認するため、変更後の資料を調査する前に県に提出する」ことを追記する。知事への答申内容は同

日、委員が了承し、文任された。  
言の微修正は会長に一

建設阻止へ住民投票を

(11) 【地方特集】 2021年6月28日（月曜日） しんぶん 赤 旗

地方政治 わかる

静岡・函南 メガソーラー 町民は反対なのに

メガソーラーは、フルーキヤビタルでプロジェクト（本社・東京）とトリエネック（同・名古屋）が計画しています。富士箱根伊豆国立公園に隣接する箱根山麓の約330ヘクタール（約480分）の太陽光パネルを敷くもの。フルー社は2018年10月、県に林地開発許可を申請。町は19年5月に函南とフルー社に計画への「同意書」を通知したが、県は環境影響評価（アセスメント）の実施を条件に林地開発許可をフルー社は20年1月に影響評価を完了し、県が同意した。計画は、土砂災害や洪水、湖水の危険が高まります。函南町の軽井沢、田代、メガソーラー計画地、東海道新幹線新丹那トンネル、JR東海道線丹那トンネル、神奈川、静野川、山梨県、静岡県、静岡市。

「住民投票でメガソーラー建設を止める会」発足集会、1月30日

建設阻止へ住民投票を

「止める会」発足

土砂災害・洪水などに懸念

特性踏まえた調査を 知事意見書

<p>製スリッパの共有、消                  剤の選択の誤りなど、                  書が必要とされた例の                  か、職員がアルコール                  毒液を携行する工夫や                  業者発生を想定した備                  など、優れた取り組み                  紹介した。県や厚生労                  省のマニュアルにアク                  スするQRコードも記</p>	<p>策事例集</p>	<p>県は29日までに、函                  南町軽井沢で進む大規                  模太陽光発電所（メガ                  ソーラー）建設計画に                  伴う環境影響評価（ア                  セスメント）の方法書                  について、川勝平太知                  事の意見書をまとめて</p>
<p>公表した。生活、自然                  環境への影響を懸念                  し、地域特性を踏まえ                  た調査、予測、評価を                  「必ず実施すること」                  と明記している。</p>	<p>意見書では大気汚染                  や騒音、振動など個別                  事項ごとに実施すべき                  調査を示した。水質汚                  濁では原因となる浮遊                  物質の発生に加え、排                  水する河川におけるp                  H（ペーハー）の変化                  などについても調べる                  よう求めた。河川や地                  下水の水量について、                  下流まで影響が及ぶ場                  合は柿沢川下流や狩野                  川まで調査の範囲を拡                  大し、生態系も含めた                  予測、評価を実施すべ</p>	<p>きとした。                  事業用地の真下に活                  断層が存在する地域特                  性を踏まえ、構造物を                  設置する地盤の強度、                  土地の安定性に関する                  詳細な地質調査を盛り                  込んだ。その際、森林                  伐採に伴う雨水の浸                  透、流出など水循環へ                  の影響を検討するよう                  加えた。</p>
<p>県は4～6月、環境                  アセス方法書に対する                  審議会を4回開催し、                  答申を受けた川勝知事                  が仁科喜世志町長の考                  えなども踏まえて意見                  書をまとめた。順守を                  義務づける法的拘束力                  はないが、意見書を受                  けて環境アセスの方法                  書を修正、変更する場                  合は「調査を実施する                  前に資料を提出するこ                  と」としている。</p>		

環境への影響を懸念（静岡朝日テレビ 2021 年 6 月 30 日放送）

静岡・函南町のメガソーラー事業反対派が静岡県知事に要望書提出



函南町に建設が予定されているメガソーラー事業をめぐり、反対している住民らが静岡・川勝平太知事に事業者への指導を求める要望書を提出しました。

要望書を提出したのは、函南町軽井沢のメガソーラーを考える会や軽井沢区長など 4 つの団体の代表らです。この事業は、東京ドーム 13 個分の山間地に 10 万枚の太陽光パネルを設置するもので、環境や防災への影響を懸念する一部の住民が反対しています。要望書では、地域住民が反対している限り、環境アセスメントが終わっても、工事を強行しないよう事業者には指導することなどを知事に求めています。

函南町メガソーラーを考える会代表

山口雅之代表：「リニアとメガソーラー、2 枚看板で何とか頑張っていたきたい。全国の問題なので」

静岡県

川勝平太知事：「命や生活がかかっているのです、それを犠牲にしてまでも自然再生エネルギーや効率性を優先すべき事由はない」

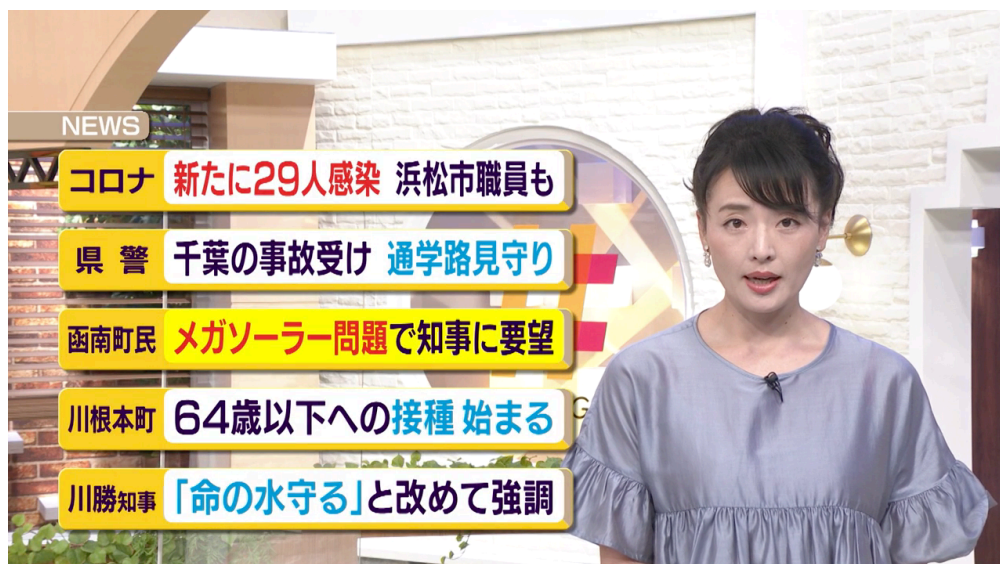
また函南町だけの問題ではなく、伊豆半島全体の問題だとして、できる限り協力していく姿勢を示しました。

函南町メガソーラーを考える会代表

山口雅之代表：「伊豆半島各地で問題が起きている。この問題を一緒に力を合わせて、取り組もうという話もいただいたので、とても心強く思っている」



函南町の住民 メガソーラー計画で県に要望（静岡放送 2021 年 6 月 30 日放送）



函南町に建設が予定されているメガソーラーについて、住民らが 6 月 30 日県庁を訪れ、川勝知事に要望書を提出しました。

函南町軽井沢地区の山林に計画されているメガソーラーについて、地元住民の代表らが 30 日、県庁を訪れました。メガソーラーは軽井沢地区の山林約 65 ヘクタールに太陽光パネル約 10 万枚を敷き詰める計画となっています。地元住民は景観の悪化や土砂崩れの危険性を不安視していて、要望書では工事を強行して進めないよう県に指導してほしいなどと求めました。

＜函南町のメガソーラーを考える会 山口雅之代表＞「（計画について）2 年前は情報が全くなかった。そんな中で事業が進んでいった」

川勝知事は住民の意見に理解を示した上で、県と町が連携しながら取り組むべき問題と応じました。

静岡・川勝知事「リニア問題とも共通」（テレビ静岡 2021 年 6 月 30 日放送）

函南メガソーラーの計画反対住民らに理解示す



静岡県函南町のメガソーラー建設計画について反対する住民団体が 30 日川勝知事と面会し、知事は「リニア問題とも共通する」と計画反対に理解を示しました。

函南町の軽井沢地区では太陽光パネル約 10 万枚が設置されるメガソーラーの建設が計画されていますが、環境や景観への影響を懸念し一部の住民が反対の声を上げています。

30 日、住民団体の代表が川勝知事のもとを訪れ「住民の反対がある限り工事を強行しないよう事業者に指導してほしい」と訴えました。

知事選で「メガソーラーが森を破壊する」とも述べていた川勝知事は・・・。

静岡県・川勝平太知事「選挙中にもリニアの問題、富士川の問題、伊豆半島のメガソーラー問題、命と水に関わる問題だと、共通していると言ってきましたので。皆さんも力を貸してください」

反対する住民たちに理解を示したうえで、建設計画を進める際に地元住民の同意を必要としていない現在の森林法を見直すべきだと述べました。

函南町 「メガソーラー」めぐり反対住民らが県に要望（NHK 2021 年 6 月 30 日放送）



函南町で民間が計画している「メガソーラー」をめぐり、反対する住民らは工事を始めないよう事業者に申し入れることを県に要望しました。

函南町の軽井沢地区では、東京の事業者が約 65 ヘクタールの大規模太陽光発電所、メガソーラーの建設を計画し、静岡県はおととし法律に基づく開発許可を出しましたが、一部の住民が災害リスクが高まるなどとして計画に反対しています。

30日は反対する住民ら7人が県庁を訪れて川勝知事に面会し、工事を始めないよう事業者に申し入れることを求める要望書を手渡しました。

川勝知事は「県と町と市民が協力していい方向に変えていきましょう」と応じていました。

事業者は、これまでに計画を進める上で必要な環境影響評価の方法を県や町に示していますが、これについて川勝知事は28日、「事業を円滑に実施するには地元の理解と協力を得ることが不可欠で、住民への丁寧な説明や環境保全データの透明性の確保に努めること」といった意見を述べた文書を事業者側に送っています。

住民の1人、山口雅之さんは「リニアとともにこの問題に取り組んでほしい。重く受け止めていただきたい」と話していました。

函南メガソーラー

**知事「住民理解のない着工間違い」**  
**函南メガソーラー**  
 函南町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画に反対する住民グループらが30日、県庁の川勝平太知事を訪ね、住民の賛同を得ないまま着工しないよう事業者への指導を求め

幹事 土屋雄一郎▽会  
 計 宮路猛▽SAA  
 萩田勝雄▽会員増強委  
 員長 山口和也▽クラ  
 ブ管理・運営委員長  
 菊地正栄▽公共イメー  
 ジ委員長 西島昭男▽  
 奉仕プロジェクト委員  
 長 大貫隆弘▽ロータ  
 リー財団委員長 大塩  
 秀樹

る要望書を提出した。  
 川勝知事は「住民の理  
 解なしに進めるのは間  
 違い。伊豆平島全体の  
 問題ととらえている」



「住民の理  
 解」を加える必要性を  
 指摘した。全国知事会  
 でもメガソーラーに関  
 する主張を続け、「知  
 事の権限は限られてい

川勝知事（左）と面談する住  
 民グループの  
 メンバー  
 県庁  
 と答えた。  
 川勝知事  
 は岩手県な  
 ど全国でも  
 メガソーラ  
 ーを巡る同  
 様の問題が  
 起きている  
 とし、林地  
 開発を許可  
 する森林法  
 の要件に  
 「住民の理  
 解」を加える必要性を  
 指摘した。全国知事会  
 でもメガソーラーに関  
 する主張を続け、「知  
 事の権限は限られてい  
 るが、国との交渉や他  
 の知事との共闘を通じ  
 て最大限活用していき  
 たい」と述べた。  
 住民グループは「リ  
 ニアとメガソーラーの  
 問題は2枚看板として  
 取り組んでもらいた  
 い」と訴えた。

富士宮信用金庫人事（1  
 日・地名は支店）総務部副  
 部長兼総務課長（総務課長）  
 近藤正道▽総務部総務課長  
 代理（富士見店長代理）望  
 月義文▽企画部副部長兼資  
 金運用課長（資金運用課長）  
 後藤淳▽企画部リスク管理  
 課主任推進役（監査部検査  
 課長）佐野裕紀▽業務部業  
 務推進課長（業務推進課長  
 兼シニアアドバイザー課  
 長）加藤卓▽融資部審査課  
 係長（富士見）渡辺寛樹▽  
 融資部与信管理課長代理  
 （与信管理課係長）佐野雅  
 章▽融資部顧客支援課主任  
 推進役（芝川店長）平林昭  
 宏▽事務部長兼事務部長口果



反対住民団体、知事に要望書 「脆弱な地盤」指摘も



川勝知事（左）に要望書を手渡し、意見交換する  
山口代表（県庁提供写真）

南  
函  
メ  
ガ  
ソ  
ー  
ラ  
ー

## 「工事強行」に指導を

### 反対住民団体、知事に要望書

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）計画で、事業に反対する住民グループは30日、県の環境影響

評価（アセスメント）が終了しても地域住民が反対している限り工事を強行しないよう指導を求める要望書を川

## 「脆弱な地盤」指摘も

### 県、知事の意見まとめ公表

函南町軽井沢地区でブルーキャピタルマネジメント（本社・東京都港区）が進める大規模太陽光発電所（メガソーラー）計画で、県は環境影響評価（アセスメント）の方法書に川勝平太知事の意見を

まとめ、事業者に送付した。県のホームページでの公表も始めた。意見として、調整池の地盤が脆弱（ぜいじやく）で地盤が沈下して施設が破損する恐れがある、事業実施区域は急傾斜地で地質が弱く、太陽光パネルを設置する箇所でも傾斜地の崩壊を発生させる恐れがあるとし、詳細な地質調査を求めた。河川、地下水の変化では、流量の予測より下流まで影響が及ぶことが明らかにになった場合、柿沢川、狩野川まで調査の範囲を拡大すべきだ、としている。事業者は知事意見を

勝平太知事に提出した。山口代表は「私たちは、川勝知事に手渡した。川勝知事は「メガソーラーは伊豆半島全体の問題。公約に掲げているように県民の命と暮らしを守るため、できる限りのことをしていきたい」と発許可を受けている。

山口代表は「私たちは、川勝知事に手渡した。川勝知事は「メガソーラーは伊豆半島全体の問題。公約に掲げているように県民の命と暮らしを守るため、できる限りのことをしていきたい」と発許可を受けている。

最新情報は下記のウェブサイトをご覧ください。

→ <https://dialand.jp>